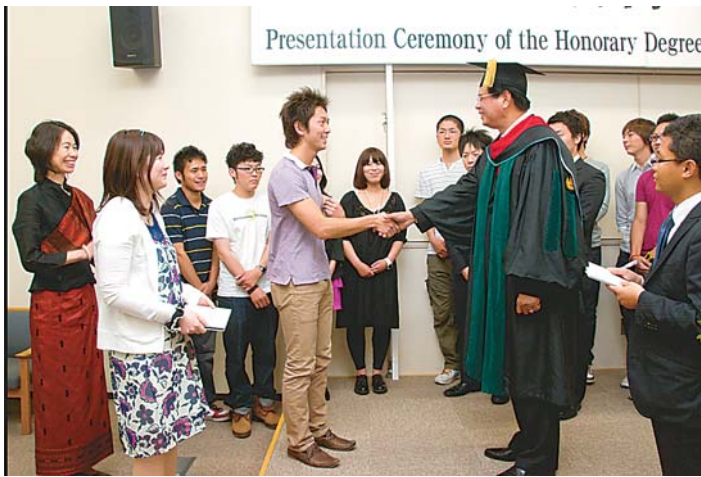


ラオスのブアソン首相に 名誉博士称号贈る

神田キャンパスで 贈呈式



▲「海外特別研修」受講生、飯沼健子ゼミ生に囲まれて。握手するのは山田祐希さん。左端は飯沼准教授



▲ブアソン首相(左)と日高学長=贈呈式で

国際経済学科生の研修 民間外交官と称賛

記念スピーチ

本学のガウン姿でブアソン首相が登場すると、会場から大きな拍手が起きた。同首相のプロフィールが紹介され、日高理事長・学長が歓迎あいさつを行ったあと名誉博士称号を授与。同首相は「ラオス人民民主共和国の社会的・経済的発展と日本との友好関係」をテーマに記念スピーチを行った。

ラオスの政治の安定、経済成長と社会開発、環境保全に取り組み、同国の発展への原動力となる人材開発には一層力を入れていくと、日本に協力を要請。「2

ラオス人民民主共和国の発展に尽力するブアソン・ブツパーヴァン首相に対して、専修大学が贈る名誉博士称号贈呈式が5月22日、神田キャンパスで行われた。

贈呈式には日高義博理事長・学長はじめ学生や卒業生ら250人が出席。7号館の教室は立って聞く人が出るほどの参加者であふれた。ブアソン首相は「多数の専修大学の学生のみならず、ラオスを訪れ、両国間の学生交流を積極的に推進してきた。さらに我々の友好関係が深まることを期待している」と語った。

「専大生は、ラオスとの民間外交官」としての大切な役割を果たしている」と強調すると、ひととき大きな拍手がわいた。

会場には「海外特別研修」を受講し、ラオスをフィールドワークに訪れた学生や卒業生、飯沼ゼミ生のほか法学部の学生も多数詰め掛けて、同首相のスピーチに耳を傾けた。

式終了後、学生や卒業生たちが同首相を囲んだ。代表して山田祐希さん(経済3、飯沼ゼミ長)が、ラオス語で歓迎あいさつをし、昨年の「海外特別研修」でラオスを訪れた際の写真を手渡した。同首相は笑顔で受け取り、「みなさんが築いた日本とラオスの友好的な関係が、これからも専大の中で受け継がれ、はぐくまれることを祈ってやみません。みなさん、ありがとうございます」と語った。

同首相と握手をした山田さんは「私たちの目線に立って温かな言葉をかけていただき、大感激です。ラオスがさらに大好きになりました」と胸を弾ませてブアソン首相の印象を語った。

専修大学が名誉博士称号を贈るのは8人目。ノーベル平和賞受賞者のジョディ・ウィリアムズさん(米国内、1999年)らが受賞している。

ニッポス専修

専修大学 ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 2008年度学校法人専修大学決算.....2
- 専修大学の歴史を学ぶ教養特殊講義に日高学長が登場.....3
- 読売新聞「大学ルネサンス」に新学部新学科の広告を掲載.....4
- 北海道短期大学特集(受験生PR版).....5
- 石巻専修大学 硬式野球部が全日本大学選手権出場.....7
- 大矢根淳文学部教授らが「中野島町会防災マップづくり」.....10

テレホンサービス
(お知らせ・緊急連絡)
0180-994-994

本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

盛りだくさんの体験授業！
親子で一緒に学んでみませんか？
**専修大学
体験授業
フェア**

6/21(日)
生田キャンパス
10:30~15:00
(時間ごと入退場自由)

アメリカンフットボール部
「専大グリーンマシーン」
は、小中学生を対象としたチーム「川崎ジュニアグリーンマシーン(中学生)」、「川崎リトルグリーンマシーン(小学校高学年)」の結成を目指し、活動している。

「第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」が開催されたのを機に川崎市は、「アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進委員会」を設置し、地域経済の活性化、青少年の健全育成を推進する「川崎タイタンス計画」をスタートさせた。今企画はその活動に協力していくもので、平野恭雄監督は「体力の向上と共に礼儀なども教えて、子どもたちを育てたい」と話している。

5月24日に、川崎球場で行われた体験会には、約70人が参加。実際に防具をつけた子どもたちは、「アメフト」の楽しさを体感した1写真。

7月4日には、生田キャンパス北グラウンドでも体験会を行う(関連記事16面)。

「第九」で130年祝おう 「祝祭合唱団」結団式



▲合唱団のメンバーにドイツ語の指導をする寺尾格経済学部教授

「合唱経験はないが、歌うのは大好きなので楽しんで練習に励みたい」「第九」を歌いたいと常々思っていたので、チャンスとばかりに申し込んだ」「通っている娘の大学の記念イベント。しかも「第九」を歌えるなんて夢のよう」など熱意のほどが寄せられた。

このあと合唱団メンバーでもある寺尾格経済学部教授がドイツ語の発音や発声法について解説した。

合唱団は同12日から13回ほどの合同練習を重ね、武蔵野合唱団の協力のもと、12月5日、川崎市のミューザ川崎シンフォニーホールで本番に臨む。演奏は専修大学フィルハーモニー管弦楽団。指揮者に小林研一郎氏を迎え、総勢300人規模の編成になる。

専大グリーンマシーン

小中学生を対象にチーム結成へ 川崎球場で体験会、7/4には本学で開催



アメリカンフットボール部「専大グリーンマシーン」は、小中学生を対象としたチーム「川崎ジュニアグリーンマシーン(中学生)」、「川崎リトルグリーンマシーン(小学校高学年)」の結成を目指し、活動している。

「第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」が開催されたのを機に川崎市は、「アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進委員会」を設置し、地域経済の活性化、青少年の健全育成を推進する「川崎タイタンス計画」をスタートさせた。今企画はその活動に協力していくもので、平野恭雄監督は「体力の向上と共に礼儀なども教えて、子どもたちを育てたい」と話している。

5月24日に、川崎球場で行われた体験会には、約70人が参加。実際に防具をつけた子どもたちは、「アメフト」の楽しさを体感した1写真。

7月4日には、生田キャンパス北グラウンドでも体験会を行う(関連記事16面)。